

二条中だより

12月号臨時号

平成27年12月15日

京都市立二条中学校

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=200905>

Eメールアドレス nijo-c@edu.city.kyoto.jp

4月21日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語、数学、理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況についてお伝えします。

総合結果（国語・数学・理科）

	国語 A(知識)	国語 B(活用)	数学 A(知識)	数学 B(活用)	理科
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
京都府	76.7	66.5	65.3	42.5	52.6

本校では、全ての領域において全国、京都府の平均より上回るポイント結果が出ました。
各教科や生徒質問紙については、以下のとおりです。

国語科より

全体的によくできています。
特に「書くこと」の問題が全国平均と比べて5
ポイントも上回りました。
しかし、「文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の
考えを書く」など、自分の考えを書くことや、漢字・慣用句・文法などの言語知識に関する問題は、
正答率が低くなっています。たくさんの文章を読
む（読書）ことや日々の学習の積み重ねが大切で
す。

数学科より

数と式、図形、関数、資料の活用とすべてにお
いて、全国平均を上回っております。特に、数と
式、図形においては10ポイントほど高くなっ
ており、自信を持ってよいと思います。

少し気になる点としましては、関数領域におい
てですが、全体的に苦手意識を持っている生徒が
多いです。

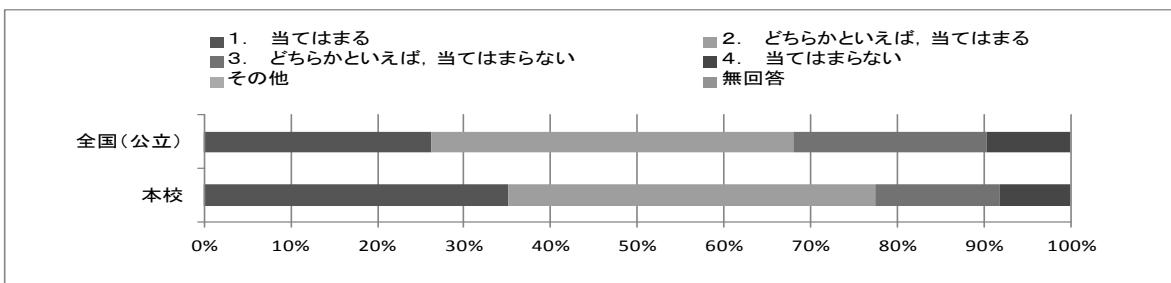
2年生で習った一次関数、3年生の二次関数を
しっかりと復習し、弱点を克服していきましょ
う。

理科より

すべての領域で平均を上回っています。その中で4領域に分けてみると、物理と生物の領域で10
ポイント上回り、化学と地学の領域でそれより少し低く出ています。記述式の解答は10ポイント以上の
開きがあり、得意と思われます。今後も授業などで記述に慣れていくとよいでしょう。弱点として地学
(天気)の領域が気になります。特に風向の読み方や雲のでき方を理解しましょう。

生徒質問紙調査から①

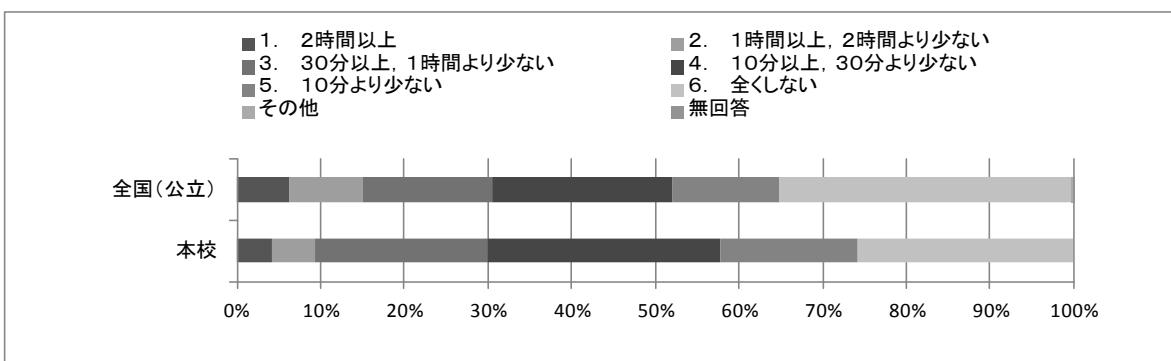
1. 自分には良いところがありますか。



自分に「良いところがある」生徒の割合が、全国平均を上回っています。学校でもいろんな場面でみなさんが活躍してくれています。自分に自信を持てている人が多いです。

生徒質問紙調査から②

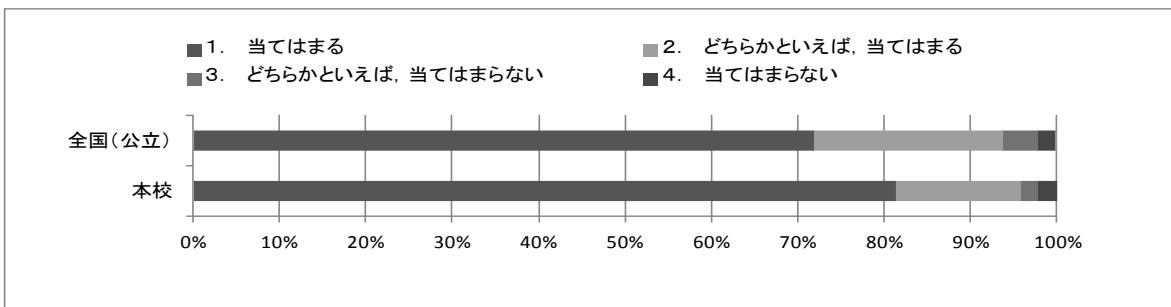
2. 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。



読書については、毎朝、10分間ですが読書の時間を設け1年生より取り組んできました。その成果もあり本を読んでいる割合は全国平均を上回っています。今後も隙間の時間などをうまく利用し、続けていってほしいです。

生徒質問紙調査から③

3. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



学校では卒業後の進路だけでなく、将来のなりたい姿や職業などをキャリア教育という観点で進めています。どんな仕事に就くにしてもこの項目は大切なことだと思います。また、人としてあるべき姿として大切にしたい項目です。